

第9回 直方市中心市街地活性化協議会 議事録

(開催要領)

開催日時：平成23年7月6日(水) 15時00分～15時45分

場 所：直方商工会議所 4階 大ホール

出席委員：委員総数 29名 出席委員 20名

オブザーバー 11名

定刻、前記のとおり出席があったので、事務局より開会を宣し、内藤会長が挨拶した後、議長となって議事に移る。

(1)平成22年度 事業報告・収支決算について

事務局より、平成22年度 事業報告が下記の通り行われた。

【平成22年度 事業報告】

1. 直方市中心市街地活性化協議会の開催
2. 中心市街地活性化基本計画の事業評価
3. 民間事業への支援
4. 中心市街地活性化事業への支援

引き続き、事務局より、平成22年度直方市中心市街地活性化協議会決算書について報告された後、大塚監事より監査報告がなされた。収支決算書の事業費の支出項目について質疑があり、商店街内ファッションショー等の中心市街地活性化事業の広報費用等の事業費として支出したとの事務局から説明があり、その後、議長は、本件について可否を問うたところ、一同異議なくこれを承認した。

(2)平成23年度 事業計画(案)・収支予算(案)について

事務局より、平成23年度 事業計画(案)について説明が下記の通り行われた。

【平成23年度 事業計画(案)】

1. 直方市中心市街地活性化協議会の開催
2. 中心市街地商業活性化基本計画の事業評価
3. 民間事業への支援
4. 中心市街地活性化事業への支援

引き続き、事務局より、平成23年度収支予算(案)について提案がなされた。事業計画の民間事業の内容について質疑があり、前年度から引き続きチャレンジショップ事業やその他の事業についても検討をしていくと事務局より説明がある。その後、議長は、本件について可否を問うたところ、一同異議なく承認された。

(3) 中心市街地活性化事業の進捗状況及び効果の検証について

直方市役所 産業振興課 小川課長より、以下の主な事業の進捗状況及び効果の検証について報告がなされた。

交通結節点改善事業については、新駅舎が平成23年4月に完成し、南自由通路が今年度中に完

了予定。須崎町土地区画整理事業については、移転補償が完了し、今年度中に5階建て20戸の集合住宅が建設される予定。等、現状の進捗状況について報告がなされた。

事業効果の検証について、これらの事業実施により、目標①の「中心部の都市機能を強化し、利便性を高めることによる賑わいの向上」（指標：歩行者・自転車通行量）について、平成21年度実績8,022人／日に対して、平成22年度実績6,376人／日と平成19年度の基準値7,790人／日から18.2%減少した。また、目標②の「歴史と文化を活かした新たな魅力の発掘による交流人口の増加」（指標：街なか文化施設利用者数）については、平成21年度実績43,441人／年に対して、平成22年度実績40,626人／年と平成19年度の基準値41,498人／年から2.1%減少した。

今年度、実績値が大きく減少しているのは調査日が3月13,14日と東北大震災の直後でその影響が出たものと推測され、実際の効果の検証については次年度の測定値を待つ必要があるとの報告がなされた。

本報告に対して、駅周辺のハード整備が進んでいるので、商業等の活性化事業も進め、中心市街地の活性化に努めてほしいとの意見がある。また、JR直方の旧駅舎の保存運動について質疑があり、現状についての説明として、住民監査請求により、都市計画法・文化財保護法違反による予算の差し止め請求及び駅舎の取り壊し中止の仮処分も提訴されているが、意見書の提出を行い、法的に対応しているとの報告がなされた。また、須崎町土地区画整理事業に伴う須崎町地区の雨水排水について質疑があり、すでに排水管の増量も行っており北小学校の排水ポンプの設置も完了しているので冠水の心配はないとの説明がある。

（4）その他

その他として、直方警察署より、JR直方駅の駐輪場がたまり場となり、未成年者がたばこを吸っているとの通報があっている。署でも、警邏したりパトカーを回したりしているが、中心市街地の活性化を考える中でこうした状況は逆行するものなので、青少年の健全育成に関しても皆さんのご協力を賜りたいとの依頼がなされた。

以上により、議事が終了したので15時45分閉会した。